

株主通信

Vol.26

2015年3月期 第2四半期 2014.4.1~2014.9.30

INSIGHT & INFORMATION



株式会社 ニチダイ
NICHIDAI CORPORATION

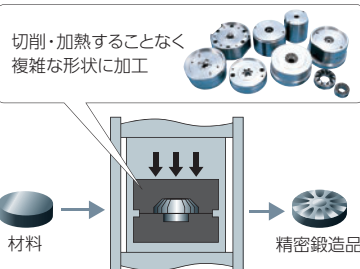
証券コード 6467



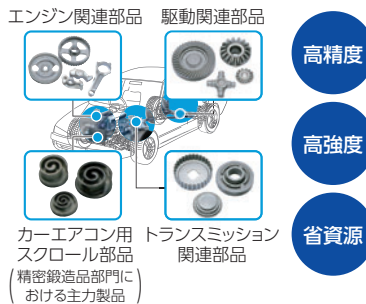
ネットシェイプ事業

- 自動車部品を一発のプレスで形成できる精密鍛造金型の生産
- 金型技術を活かした付加価値の高い部品の提供
- 金型生産・開発から製品製造までのトータルエンジニアリングを提案・提供

ネットシェイプ用の精密鍛造金型を設計・製造



部品メーカー（顧客）が精密鍛造金型を使って自動車用部品を生産 (一部当社でも生産)



主に自動車メーカー

国内の全自動車メーカー系列企業
海外自動車メーカーとの取引も増加

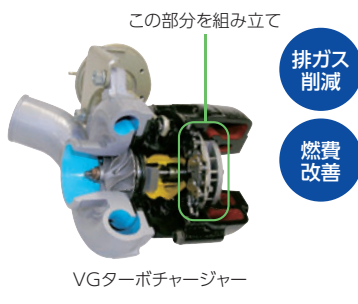
アセンブリ事業

- 主に欧州向けディーゼルエンジン車用「VGターボチャージャー」の部品組み立て

「VGターボチャージャー」の部品を組み立て



納入先メーカー（三菱重工業株式会社）でターボチャージャーの一部を組み込まれる

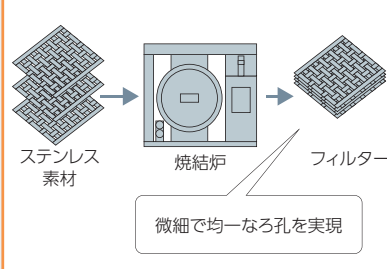


主に欧州自動車メーカー
(欧州ではディーゼルエンジンのシェアが半数以上)

フィルタ事業

- 何枚ものステンレス金網を一体構造化した積層焼結フィルターの生産
- フィルターの洗浄・再生サービス

独自の「拡散接合」技術を使ってフィルターを製造



顧客メーカーの用途に応じて各種フィルター形状に加工



各種メーカー

石油、ガス、化学、繊維、食品、航空宇宙産業など

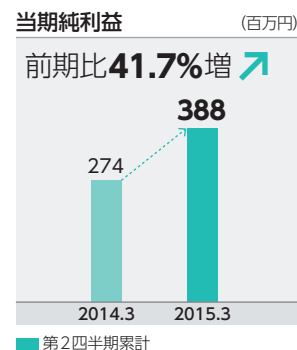
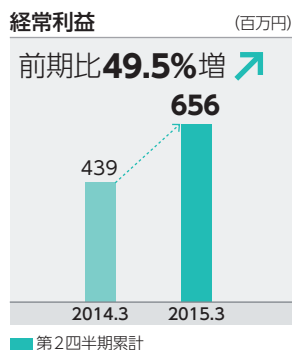
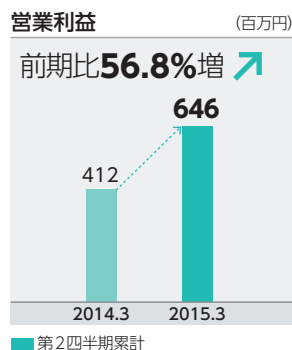
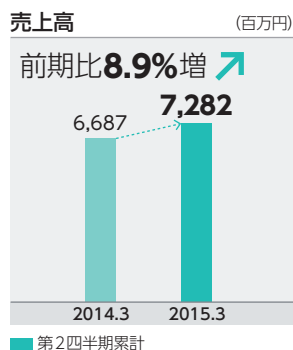


新中期経営戦略の初年度上半期は、増収増益の滑り出しとなりました。

2015年3月期の第2四半期累計期間(2014年4月1日～9月30日。以下、上半期)は、ネットシェイプ事業、フィルタ事業の増収効果により、経常利益ベースで大幅な増益となりました。これを受けて、通期の業績予想を修正しております。一方で、今後の事業環境には不透明感もあるため、一層の受注拡大に努めてまいります。

代表取締役社長
古屋 元伸

第2四半期累計の業績 *百万円未満は切り捨て



【見直しに関する注意事項】 当報告書の記載内容のうち、歴史的事実ではないものは将来に関する見直しおよび計画に基づいた将来予測です。これらの将来予測には、リスクや不確定な要素などの要因が含まれており、実際の成果や業績などは記載の見直しとは異なる場合がございます。

上半期の業績概況

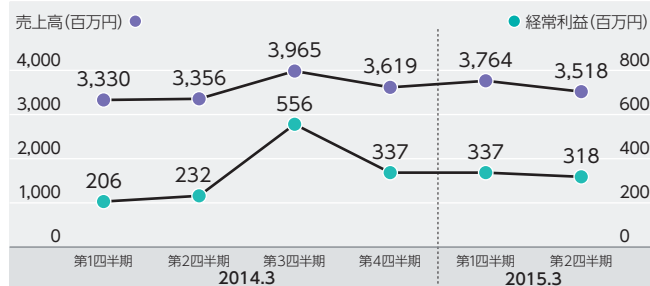
当社グループの主要顧客業界である日系自動車産業では、国内市場においては消費税増税の影響により販売が停滞し、海外市場においてもASEAN市場減速などの影響を受けたものの、北米市場が好調に推移したため、全体的には生産台数が増加傾向となりました。

こうした状況を受けて、上半期は売上高72億8千2百万円(前年同期比8.9%増)、営業利益6億4千6百万円(前年同期比56.8%増)、経常利益6億5千6百万円(前年同期比49.5%増)、四半期純利益3億8千8百万円(前年同期比41.7%増)と当初計画を上回る結果となりました。

通期の見通しと配当

通期につきましては、第2四半期累計期間の実績が当初見込みを上回ったことに加えて、第3四半期以降に見込まれる

四半期ごとの売上高・経常利益の推移(連結)



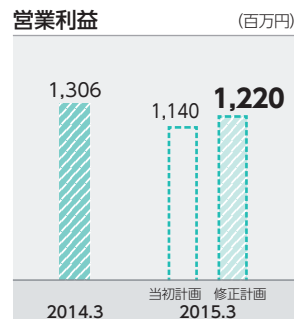
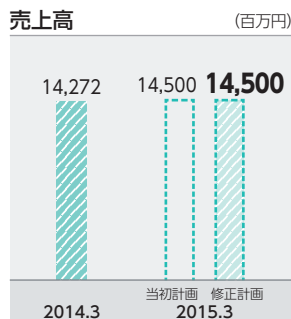
*百万円未満は切り捨て

各事業の動向を考慮し、2014年10月31日に、営業利益、経常利益、当期純利益の業績予想の修正を公表いたしました。その結果、通期業績予想を、売上高145億円(前年同期比1.6%増)、営業利益12億2千万円(前年同期比6.6%減)、経常利益12億円(前年同期比10.0%減)、当期純利益7億7千万円(前年同期比4.9%減)としております。

配当につきましては、株主の皆さまへの利益還元を経営の重要政策と位置づけ、将来の事業展開と経営体質強化のために必要な内部留保を確保しつつ、安定した配当の継続を基本方針としています。

当期の中間配当につきましては、当初予想どおり、8円とさせていただきます。また、期末配当につきましても、当初予想に変わりはなく8円とし、年間配当合計は16円を予定しております。

通期見込み *百万円未満は切り捨て



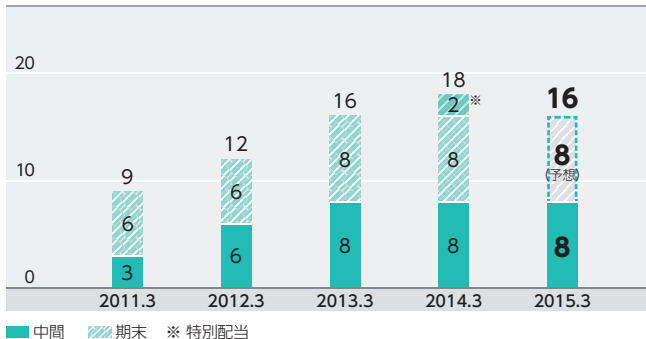
■ 通期

*当初計画(2014年5月発表)
修正計画(2014年10月発表)

■ 通期

1株当たり配当金

(円)



■ 中間 ■ 期末 ※ 特別配当

ネットシェイプ事業

売上高構成比 **53.7%**
(2015.3 第2四半期累計)

● 上半期の業績概況

金型部門においては、国内ユーザー向けの輸出用金型が増加したことに加えて、海外ユーザー向けにおいてもインド、韓国等のアジア地域における売上高が増加しました。精密鍛造品部門においては、NICHIDAI (THAILAND) LTD.

でのスクロール鍛造品が量産体制に入っております。こうした結果を受けて、ネットシェイプ事業の売上高は39億1千万円(前年同期比21.4%増)となりました。

利益面においては、金型部門の増収効果に加え、海外における精密鍛造品の生産が増加したことから、経常利益3億1百万円(前年同期比252.2%増)となりました。



● 下半期の業績見通し

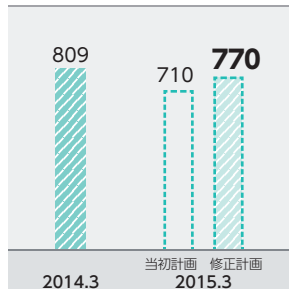
NICHIDAI (THAILAND) LTD.における精密鍛造品の生産が、当初計画を下回る水準で推移すると見込まれるものの、金型部門が引き続き好調を維持すると予想されることから、通期の売上高は期初計画(77億6千万円)を上回り、78億1千万円(前年同期比8.9%増)を見込んでいます。

経常利益 (百万円)



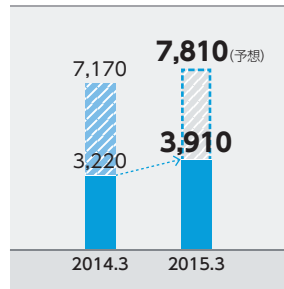
■ 通期

当期純利益 (百万円)



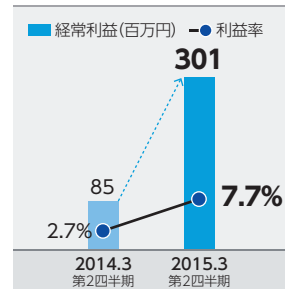
■ 通期

売上高 (百万円)



■ 第2四半期累計 ■ 通期

経常利益・利益率





アッセンブリ事業

売上高構成比 **33.5%**
(2015.3 第2四半期累計)

● 上半期の業績概況

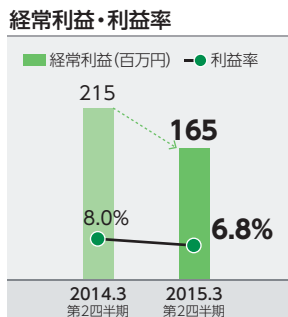
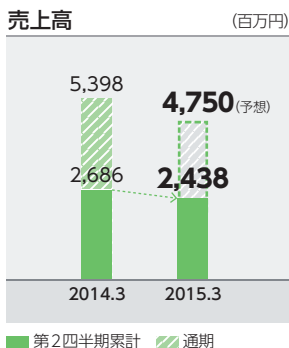
VGターボチャージャーがモデルチェンジの端境期に入っていることから、国内外の拠点で第2四半期以降、売上高が減少傾向となっております。その結果、アッセンブリ事業は、24億3千8百万円(前年同期比9.2%減)の売上高となりました。

また、減収の影響を受けて、経常利益は1億6千5百万円(前年同期比22.9%減)となりました。

● 下半期の業績見通し

下半期については、VGターボチャージャー部品について、一部の機種が立ち上がるものの、全体としてはモデルチェンジの端境期が本格化することから、当初想定した売上高(49億円)を下回る見込みです。そのためアッセンブリ事業の通期の売上高は47億5千万円(前年同期比12.0%減)を予想しています。

アッセンブリ事業(第2四半期累計) *百万円未満は切り捨て



フィルタ事業

売上高構成比 **12.8%**
(2015.3 第2四半期累計)

● 上半期の業績概況

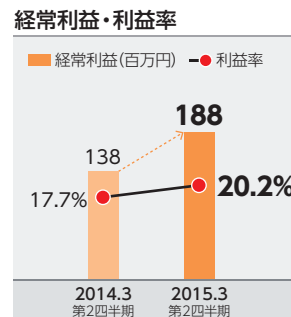
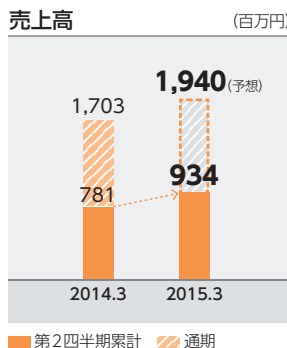
フィルタ事業では、韓国、欧州向けなどの輸出用フィルター製品の売上高が増加したことに加え、石油掘削用の需要復調などを受けてTHAI SINTERED MESH CO., LTD.も堅調に推移しました。その結果、フィルタ事業の売上高は9億3千4百万円(前年同期比19.6%増)となりました。また、売上高の増加に伴い、生産稼働率が高まった結果、経常利益は1億8千8百万円(前年同期比36.6%増)となりました。

● 下半期の業績見通し

下半期につきましても、上半期に引き続き、海外需要を中心に好調に推移すると見込まれます。さらに、上半期に売上が計上され始めた新製品の大型海水ストレーナーにつきましても、「バラスト水管理条約」批准後の売上増加を予想しております。(特集ページ参照)

これを受けて、フィルタ事業における通期の売上高は19億4千万円(前年同期比13.9%増)となる見込みです。

フィルタ事業(第2四半期累計) *百万円未満は切り捨て



中期経営戦略の概要

当期より始まった中期経営戦略(2014年度～)については、期初に「海外展開の強化」「新規事業の立ち上げ～量産事業の拡大～」「QDC改善による製品競争力の強化」「自動車産業以外の領域拡大」の4つの戦略を定めました。これに基づき、関連する施策を各事業において進めております。

2014年度は、次のフェーズに向けた成長のための基礎固めの時期と位置づけており、各事業における成長戦略を進めるための土台づくりに取り組んでおります。

本年4月1日付で実施した、株式会社ニチダイによるニチダイプレジジョン株式会社の吸収合併はこの一環であり、ネットシェイプ技術を活用したターボチャージャー部品の構成部品の内製化の施策などにより、ネットシェイプ事業とアセンブリ事業間のシナジー効果を発揮しつつあります。

今後も当社グループのコア技術となるネットシェイプ技術および拡散接合技術を高め、その高い技術力を背景にした経営戦略を実行していく考えです。(技術戦略の詳細については、特集ページ参照)

また、期初の投資計画を修正し、本社工場新設などインフラの再編なども進めています。

株主の皆さまには、当社グループの今後の発展にご期待いただきますようお願い申し上げます。



中期経営戦略の概要

戦略1 海外展開の強化



NICHIDAI (THAILAND) LTD.の金型生産部門の活用および国内外拠点の連携を図ることによる、アジア地域における需要拡大。



NICHIDAI (THAILAND) LTD.のスクロール鍛造品の量産が本格化。安定稼働を目指す。

戦略2 新規事業の立ち上げ～量産事業の拡大～



現在開発中の中空工法、小型ローター部品などの事業化の見極め。



塑性加工技術を活用した、ターボチャージャー部品の構成部品の内製化。



金型部門、精密鍛造品部門と、部品内製化を開始したアセンブリ事業との連携強化。

戦略3 QDC改善による製品競争力の強化



受注から出荷までのリードタイム短縮に関する改善策を継続。



ターボチャージャー部品の構成部品の内製化、およびサプライチェーンの見直しによる収益性、資産効率性の追求。

戦略4 自動車産業以外の領域拡大



フィルタ事業の成長による、自動車産業以外の領域の拡大、当社グループのリスク分散。



フィルタ事業におけるアジア地域を中心とした各種産業領域における拡販。



拡散接合技術を活用した新領域の拡大。

技術開発による事業領域の拡大

1. ネットシェイプ技術を核にした領域拡大

当社のコア技術である「ネットシェイプ技術」は、金属素材に熱を加えずに、一発成形で複雑な形状の部品を生産する技術です。ネットシェイプ事業、アセンブリ事業の領域拡大の核となります。



ネットシェイプ
事業



アセンブリ
事業

ネットシェイプ技術は、自動車産業の発展とともに進化してきました。ニチダイでは、昨今の自動車産業における環境規制強化への対応、グローバル化の進展といった傾向に沿って、複雑形状部品の生産コスト削減、新材料のネットシェイプ化

などの技術開発を進めています。

ネットシェイプ技術の開発を通して、現在中心となっている〈精密鍛造金型領域〉のみならず、ネットシェイプ事業、アセンブリ事業にまたがる〈精密鍛造品領域〉への拡大を進めています。

精密鍛造金型領域

高精度化

歯車製品の高精度化

複雑形状のヘリカルギヤ歯面のネットシェイプ化を可能にする金型開発により、機械加工削減によるコスト低減が可能になります。



長寿命化

ストレコン社(補強リング)の活用

金型には寿命があり、長寿命化が生産コスト削減につながります。ニチダイと提携するストレコン社の補強リングは金型長寿命化に貢献します。



コア技術

ネット シェイプ 技術

精密鍛造品領域

軽量化

中空工法の確立

車体軽量化に貢献する中空長軸部品のネットシェイプ成形開発を進めています。



コスト削減

板鍛造の応用(小型ローター部品)

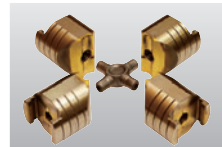
板状素材の成形において工程を短縮する開発を進めています。



高精度化

4分割構造金型

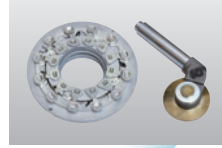
複雑な形状の部品のネットシェイプ化を可能にする、新構造の金型開発を進めています。



新材料のネットシェイプ化

ターボチャージャー部品の構成部品内製化

難加工材(インコネル)のネットシェイプ化の開発を進めています。



2. フィルタ事業の技術戦略

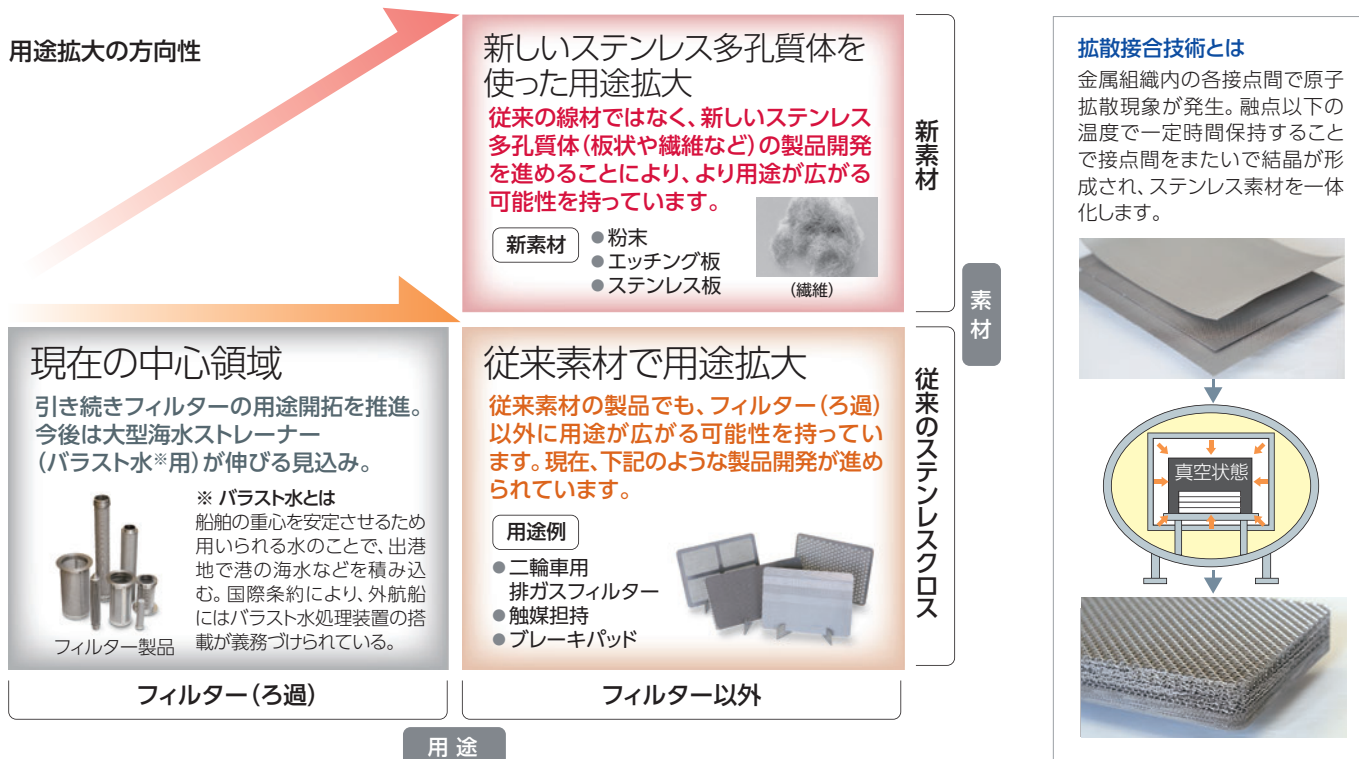


フィルタ事業の顧客産業は多種にわたっており、フィルター（ろ過）以外も含めた領域拡大を目指します。その中心となる技術戦略を紹介します。

フィルタ事業のコア技術である拡散接合技術は、複数枚のステンレスクロス（ステンレスの極細線材：布状）を一体化する技術です。耐熱性、耐蝕性、強度に優れた多孔質体であり、過酷な環境に使用できる特長を持っています。

現在の中心領域はフィルター（ろ過）用途ですが、触媒など他の用途へ広がる可能性を持っており、領域の拡大を目指した事業戦略を進めています。また、板状素材など新素材の拡散接合の開発も進めており、さらなる用途拡大の基盤づくりも進めています。

用途拡大の方向性



用途

2014年9月 インテックス大阪

機械要素技術展に出展

9月24日～26日にインテックス大阪で開催された第17回関西機械要素技術展に、当社のグループ会社であるニチダイフィルタ株式会社(以下、NFC)が出展しました。

本展示会は、機械要素や金属、樹脂に関する加工技術を一堂に集めた西日本最大の専門技術展であり、毎年開催されています。今回はフィルタ事業における新用途開拓を目的に出展し、フィルター製品に用いられている素材を中心に展示しました。

展示会には3日間で約3万5,000人の来場者があり、NFCブースへも大勢の方にお越しいただきました。(フィルタ事業の技術戦略の詳細は、特集ページ参照)



2014年10月 名古屋国際会議場

ICTP (塑性加工国際会議)に参加

第11回ICTP (International Conference on Technology of Plasticity)が2014年10月19日～24日の6日間にわたり、名古屋国際会議場にて開催されました。

本会議は第1回(東京、1984年)から3年ごとにドイツ、中国、アメリカ、イタリア、韓国と各国持ち回りで開催されており、塑性加工分野における最大規模の国際会議です。

また、会議期間中に当社主催のニチダイプライベートパーティーを開催しました。第7回精密鍛造国際学術賞の受賞者をはじめ歴代受賞者およびICTP関係者に参加していただき、盛大に催されました。



2014年11月 京セラドーム大阪

硬式野球部 日本選手権大会出場



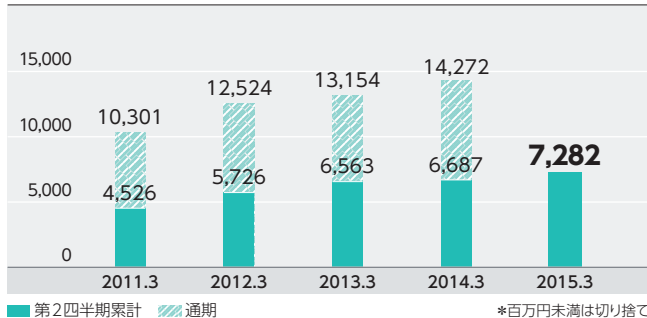
ニチダイ硬式野球部は、第40回記念社会人野球日本選手権大会に近畿地区第5代表として2大会ぶり4回目の出場を果たしました。一昨年、昨年に続き3年連続で全国大会へ出場、初戦を突破することができました。当社従業員のほか、関連会社や地元住民など多くの方々に、京セラドーム大阪まで応援に駆けつけていただき、選手に熱い声援をいただきました。

これからも全国ベスト8を目指し、チーム一丸邁進してまいります。



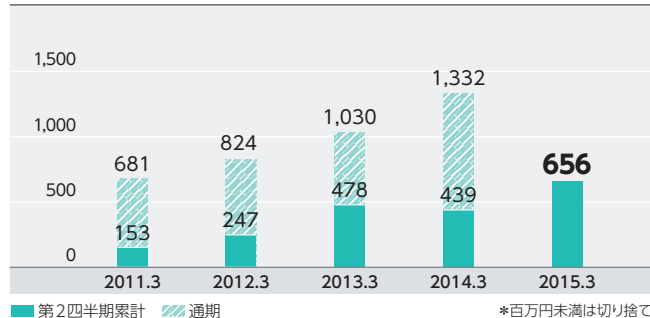
売上高(第2四半期)

(百万円)



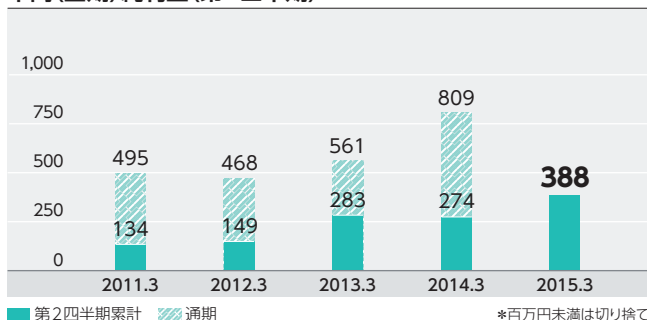
経常利益(第2四半期)

(百万円)



中間(当期)純利益(第2四半期)

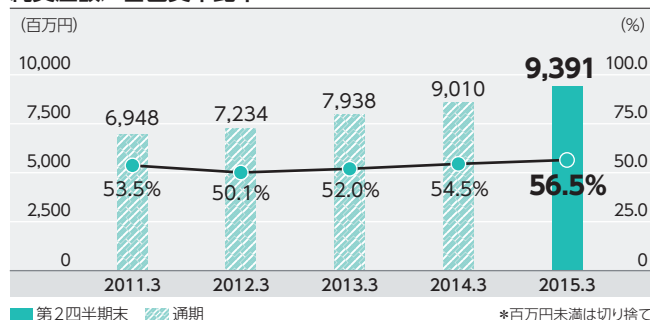
(百万円)



純資産額/自己資本比率

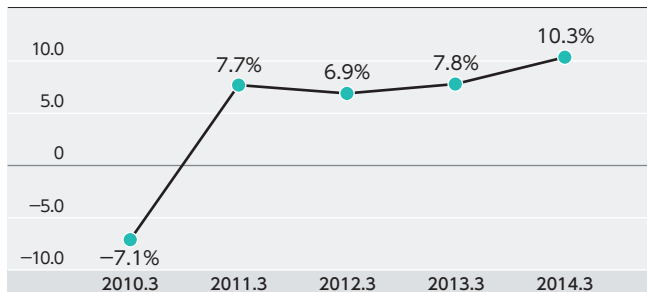
(百万円)

(%)



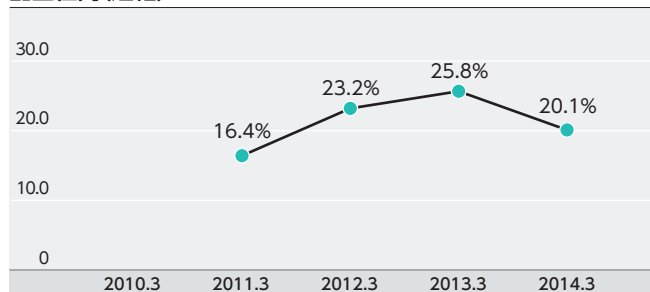
ROE

(%)



配当性向(連結)

(%)



連結貸借対照表

(単位:百万円)

資産の部 科目	前第2四半期 連結会計期間末 2013年 9月30日現在	当第2四半期 連結会計期間末 2014年 9月30日現在	前連結会計 年度末 2014年 3月31日現在
(資産の部)			
流動資産			
現金及び預金	2,695	2,140	2,086
受取手形及び売掛金	3,274	3,620	3,515
たな卸資産	2,031	2,180	2,115
その他	310	237	291
貸倒引当金	△ 3	△ 4	△ 5
流動資産計	8,307	8,175	8,003
固定資産			
有形固定資産	6,695	6,787	6,723
無形固定資産	112	122	111
投資その他の資産	437	231	381
固定資産計	7,246	7,141	7,217
資産合計	15,554	15,316	15,221

*百万円未満は切り捨て

Check Point

- ① 退職給付に係る負債の減少
基準変更によるものです。

(単位:百万円)

負債及び純資産の部 科目	前第2四半期 連結会計期間末 2013年 9月30日現在	当第2四半期 連結会計期間末 2014年 9月30日現在	前連結会計 年度末 2014年 3月31日現在
(負債の部)			
流動負債			
買掛金	1,409	1,496	1,633
短期借入金	2,237	1,532	1,688
未払法人税等	125	89	176
賞与引当金	241	281	137
その他	859	879	789
流動負債計	4,873	4,279	4,425
固定負債			
長期借入金	1,571	1,088	1,033
退職給付引当金	67	—	—
① 退職給付に係る負債	—	73	201
その他	494	483	549
固定負債計	2,133	1,645	1,785
負債合計	7,007	5,924	6,210
(純資産の部)			
資本金	1,429	1,429	1,429
資本剰余金	1,192	1,192	1,192
利益剰余金	5,151	6,018	5,614
為替換算調整勘定	120	86	147
その他	4	6	4
少数株主持分	647	737	710
純資産合計	8,547	9,391	9,010
負債純資産合計	15,554	15,316	15,221

*百万円未満は切り捨て

連結損益計算書

(単位:百万円)

科 目	前第2四半期 連結累計期間 2013年4月1日から 2013年9月30日まで	当第2四半期 連結累計期間 2014年4月1日から 2014年9月30日まで	前連結会計 年度 2013年4月1日から 2014年3月31日まで
売上高	6,687	7,282	14,272
売上原価	5,327	5,611	11,039
売上総利益	1,360	1,671	3,232
販売費及び一般管理費	948	1,024	1,926
営業利益	412	646	1,306
営業外収益	60	37	89
営業外費用	33	27	63
経常利益	439	656	1,332
特別利益	14	5	14
特別損失	2	9	32
税金等調整前四半期 (当期)純利益	451	651	1,314
法人税、住民税及び 事業税	124	94	248
法人税等調整額	26	119	176
少数株主損益調整前 四半期(当期)純利益	300	437	890
少数株主利益	26	48	80
四半期(当期)純利益	274	388	809

*百万円未満は切り捨て

連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

科 目	前第2四半期 連結累計期間 2013年4月1日から 2013年9月30日まで	当第2四半期 連結累計期間 2014年4月1日から 2014年9月30日まで	前連結会計 年度 2013年4月1日から 2014年3月31日まで
② 営業活動による キャッシュ・フロー	1,226	822	2,366
投資活動による キャッシュ・フロー	△ 519	△ 345	△ 1,064
財務活動による キャッシュ・フロー	158	△ 253	△ 1,056
現金及び現金同等物に 係る換算差額	30	△ 19	41
現金及び現金同等物の 増減額(△減少額)	896	204	287
現金及び現金同等物の 期首残高	1,387	1,830	1,387
新規連結に伴う現金及び 現金同等物の増加額	154	—	154
現金及び現金同等物の 期末残高	2,438	2,034	1,830

*百万円未満は切り捨て

Check Point

② 営業活動によるキャッシュ・フローの減少

売上債権の増加、たな卸資産の増加、仕入れ債務の減少によるものです。

国内の主要な事業所

(2014年9月30日現在)

本 社

京都府京田辺市薪北町田 13

宇治田原工場

京都府綴喜郡宇治田原町禪定寺塩谷 14

熊谷営業所

埼玉県熊谷市桜木町 2-88

浜松営業所

浜松市中区高丘西 3-12-3 1階

名古屋営業所

名古屋市名東区高社 2-127 1F

京都営業所

京都府綴喜郡宇治田原町禪定寺塩谷 14

岡山営業所

岡山市北区辰巳 22-103 TCKビル

熊本営業所

熊本市東区長嶺南 1-1-7



本社



宇治田原工場

関連会社

(2014年9月30日現在)

- ① ニチダイフィルタ株式会社
京都府綴喜郡宇治田原町禪定寺塩谷 14
- ② NICHIDAI (THAILAND) LTD.
Amata Nakorn Industrial Estate Phase 8. 700/882 Moo 5, Tb. Nhongkakha Ap. Phanthong Chonburi 20160 Thailand
- ③ THAI SINTERED MESH CO., LTD.
Saha Group Industrial Park, 99/8 Moo 5, Tambol Pasak, Amphur Muang Lamphun 51000 Thailand
- ④ NICHIDAI U.S.A. CORPORATION
15630 E State Route 12 Unit 4, Findlay, OH, 45840-9743, USA
- ⑤ NICHIDAI ASIA CO., LTD.
Amata Nakorn Industrial Estate Phase 8. 700/882 Moo 5, Tb. Nhongkakha Ap. Phanthong Chonburi 20160 Thailand

● ネットシェイプ事業 ● アッセンブリ事業 ● フィルタ事業



会社概要

(2014年9月30日現在)

社名 (英文表記)	株式会社ニチダイ NICHIDAI CORPORATION
証券コード	6467
本社所在地	京都府京田辺市薪北町田13
創業年月日	1959年5月5日
設立年月日	1967年5月1日
資本金	14億2,992万円
従業員数	342名(単独) 588名(連結)

役員

(2014年9月30日現在)

代表取締役社長	古屋 元伸	
取締役	瀬川 秀実	営業本部長 NICHIDAI ASIA CO., LTD. 社長 NICHIDAI U.S.A. CORPORATION 社長
取締役	島崎 定	精密部品事業本部長 NICHIDAI (THAILAND) LTD. 社長
取締役	畑中 恵二	生産本部長、技術・開発本部長
取締役	辻 寛和	管理本部長、経営企画室長
監査役(常勤)	萩野 雅章	
監査役	刈谷 敏彦	
監査役	溝上 哲也	

当社ホームページのご紹介

ニチダイへの理解を深めていただくために、ホームページをご活用ください。



<http://www.nichidai.jp/>

株式の状況

(2014年9月30日現在)

発行可能株式総数	15,500,000株
発行済株式の総数	9,053,300株
単元株式数	100株
株主数	2,525名

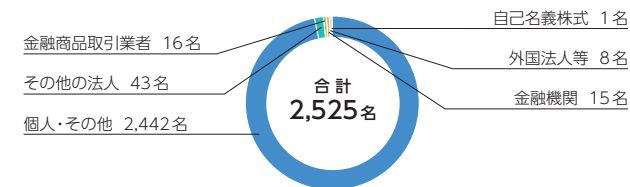
大株主

(2014年9月30日現在)

株主名	当社への出資状況	
	持株数	持株比率
有限会社ジャスト	885,600	9.78%
田中克尚	497,688	5.49%
ニチダイ従業員持株会	480,244	5.30%
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	366,000	4.04%
中棹知子	282,600	3.12%
古屋啓子	272,600	3.01%
株式会社三菱東京UFJ銀行	217,600	2.40%
大阪中小企業投資育成株式会社	174,000	1.92%
資産管理サービス信託銀行株式会社(証券投資信託口)	169,600	1.87%
京都中央信用金庫	169,000	1.86%

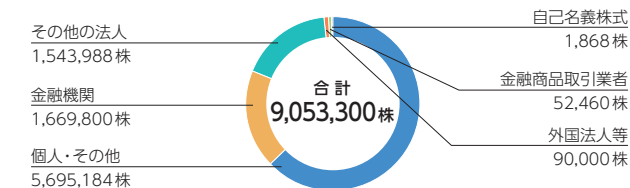
所有者別分布

(2014年9月30日現在)



所有者別株式数分布

(2014年9月30日現在)

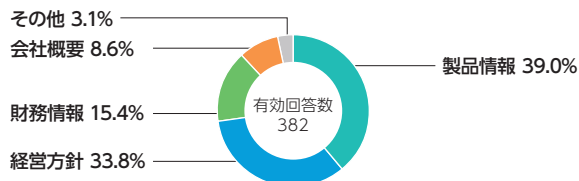


株主さま向けアンケート結果のお知らせ

2014年6月に発行した株主通信 (Vol.25) で実施したアンケートに対して、多くの株主さまからご回答、ご意見をいただきました。心から御礼申し上げます。お寄せいただきました貴重なご回答、ご意見は今後の事業活動、IR 活動の参考にさせていただきます。

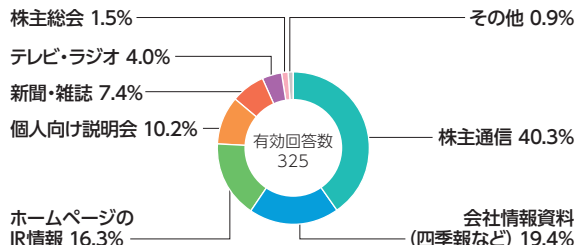
下記に、アンケート結果のうち、いくつかをご紹介します。

当社についてもっと知りたい情報



前回に続き、株主通信を通じて知りたい情報のトップは「製品情報」でした。特に、新製品の開発や新技術に対する関心が高まっています。

当社の充実すべきIR活動



充実すべきIR活動のトップは「株主通信」でした。今後引き続き、株主の皆さまの声に耳をかたむけ、株主さまからの貴重なご意見、ご要望にお応えできるよう、積極的に取り組んでまいります。

その他のご意見

- 事業紹介のページはとても参考になった。
- 製品開発・研究状況を教えて欲しい。
- 長期保有したくなるような成長・業績アップをして欲しい。

Investor Information

株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
基準日	期末 3月31日 中間 9月30日
株主名簿管理人 特別口座の 口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番5号 三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号 三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部 TEL.0120-094-777 (通話料無料)
同取次所	三菱UFJ信託銀行株式会社 全国本支店
公告方法	電子公告 当社ホームページ(http://www.nichidai.jp/) にて掲載
単元株式数	100株

ご注意

1. 株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
2. 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国本支店でもお取り扱いいたします。
3. 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行全国本支店でお支払いいたします。

アンケートのお願い

当社では、株主の皆さまのご満足を追求し、今後も業績情報の開示の充実に努めてまいります。この株主通信に対するご感想、ご意見をお寄せください。つきましては同封のアンケートハガキにご記入いただき、ご投函いただけますようお願いいたします。今後とも、ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。



株式会社 ニチダイ
NICHIDAI CORPORATION
本社 TEL. (0774) 62-3481 (代)